



太閤山

平成 31 年 4 月 23 日
射水市立太閤山小学校
TEL 56 - 3303
E-mail taikoyama-es@tym.ed.jp

みんなの笑顔が輝く太閤山小学校に

希望に胸膨らませた新 1 年生を迎え、全校児童 376 名で 2019 年度がスタートしました。平成から令和へと元号が変わる記念すべき年です。学校中にやる気が溢れ、子供たちも教職員も心機一転張り切っています。

始業式には、「みんなの笑顔が輝く太閤山小学校にしたい」という私の願いを子供たちに話しました。そして、その実現のために次の二つのことを心掛けてほしいと伝えました。

一つ目は、「笑顔が増えるための挨拶とあったか言葉」です。

二つ目は、「努力」です。

先月に引退した大リーグのイチロー選手は、「小さいことを積み重ねることがとんでもないところに行くただ一つの道」と言っています。そして、小学生の時からずっと「誰よりも早く球場に行くこと」「毎日準備を欠かさないこと」「道具を手入れすること」を続けたそうです。「イチロー選手を知っている？」と聞くと、ほとんどの子が手を挙げたので、このことを話し、「なりたい自分を見つけ、どんな小さな目標でもそれに向かって努力し、一つ一つ達成しながら積み重ねてほしい。ライバルは友達ではなく、昨日の自分です」と伝えました。

そして、同じことを教職員にも話しています。子供たちに笑顔で寄り添うこと、その子なりの努力と変化、よさを認め、伝える努力をしてほしいということです。

大切なお子さんをお預かりし、保護者や地域の皆様のご期待に添うよう、教職員が一丸となって精一杯がんばりたいと思います。どうかご支援のほど、よろしくお願いします。

入学おめでとう

4 月 5 日（金）、55 名のかわいい 1 年生を迎えました。

前に立たれる人のお話をよい姿勢でしっかり聴き、「ありがとうございます」と応える姿、名前を呼ばれて返事をする姿に頼もしさを感じました。

雨の日も黄色い合羽を着て元気に登校しています。様々な経験を通して、友達が好き、先生や地域の人が好き、学校が好きと思えるようになってほしいと願っています。



25日は、あったか家族の日 ～家族一緒に、食事、おしゃべり、お手伝い～

「家族の愛情、親の愛情」を感じるの何といても毎日の家族の会話(挨拶も含めて)です！

学校は、社会性を身に付け、互いのよさや違いを認めながら、自分自身の「生きる力」(確かな学力、豊かな心、たくましい体)を高めるところです。将来「よい社会人」になるためにがんばっていくところです。自分の思いが通らず我慢をすること、悩むこと、疲れることもあるでしょう。そんな子供たちが頑張れるエネルギーの源は、「家族の愛情、特に親の愛情」です。

「よい子」は学校で、家では「だめな自分」も出せるように、子供を丸ごと受け止めるために、
楽しいことを共に喜んだり、悩みを聞いたりするなど、会話に努めましょう！

太閤山小学校 スタッフです よろしくお願ひします

職・担任	氏 名	職・担任	氏 名	職・担任	氏 名
校 長	櫻野 栄子*	教 頭	杉山五輪子	教務主任	竹林ゆかり
生徒指導主事	永井 浩	保健主事	轟 人美*	1年1組	草島 亜紀
1年2組	酒谷 文	2年1組	日高 駿*	2年2組	山崎千鶴子
3年1組	中村 彩華	3年2組	川筋喜代子	4年1組	依田 智美*
4年2組	牧坂 圭恵*	5年1組	金森 凌	5年2組	小谷 樹恵
6年1組	鈴木 瑞範	6年2組	永山 憂貴	山びこ学級	明石 裕美
大空学級	中波 大薫*	かがやき学級	鷲平 綾音	少人数指導	澤野 豊
ことばの教室	大門 明美*	ことばの教室	河原 光裕	国際教室	片岡 交治
英語専科教員	○森永 郁江*	理科専科教員	○秋山 渉*	初任者指導	○蒲田 人美*
養護教諭	吉田 起子*	栄養教諭	稲垣 素代	事務職員	中前 薫*
用 務	福島 順三	用 務	田村 晶子*	図書館指導員	北川 一美
学習サポーター	土田麻衣子	学習サポーター	石川 陽子	学習サポーター	清水美奈子
ALT	○フォードライアン	外国語活動指導員	○神嶋 直美	外国人相談員	○西野 明奈
外国人相談員	○白鳥ダニャルニーフ	外国人相談員	○渡邊 歩未	外国人相談員	○井伊 美月
スクールカウンセラー	○黒崎 聡美*	スクールソーシャルワーカー	坂田 正博	スクールソーシャルワーカー	宮原 正博

※ *は、今年度転入の教職員、○は他校と兼務の教職員です。

お世話になりました

30年度末で11名の教職員の転退職がありました。

在職中は、太閤山小学校のためにご尽力いただき、ありがとうございました。新しい任地でのご活躍をお祈りしております。転退職された先生方は次のとおりです。

職	氏 名	新任先
校長	中田 礼子	退職
教諭	太田 好美	歌の森小
教諭	長谷川昌也	作道小
教諭	唐木 啓子	中太閤山小
教諭	高沢 浩彰	金山小
教諭	竹腰 友紀	中太閤山小
教諭	瀬尾 実莉	塚原小
教諭	渡辺 芳美	作道小
養護教諭	四日 純子	中太閤山小
事務	渋谷 恭子	博労小
用務	宮田 貴絵	大島小



寄り添うということ 待つということ



入学式の翌日、玄関でのことです。不安で泣いてしまった1年生の女の子がいました。登校班の6年生の男の子が自分の妹(1年生)に「友達やろ、声かけてあげられ」と、言っています。

同じくその日は初めての給食でした。1年生の横には6年生が座っています。「いただきます」をした後、牛乳のストローの使い方が分からず、戸惑っていた1年生に「こうするんだよ」と、6年生が見せてあげています。そして、1年生がゆっくりゆっくり、準備をする間、自分も食べずにここにこと見守っているのです。

よほど、自分がしたほうが早いけれど、1年生同士が助け合えるように、自分でできることが増えるように、寄り添って見守る、待つ姿に私自身、ハッとさせられました。子供って素晴らしいですね。

あったかハートをありがとう！！

